



## 【母校の門出に寄せて】

### 熊本西高校卒業式に参列して

3月は地元の子ども園、小・中学校：それぞれの門出にお招きいただきました。小さな手で証書を受け取る園児の姿、希望に満ちた小中学生の表情、そしてそれぞれの未来へと歩み出す凛とした姿に触れ、成長の尊さを改めて実感いたしました。

そして3月1日には、母校である熊本西高校の卒業式に県議会議長代理として出席し、祝辞を述べました。晴れやかな表情で巣立つ卒業生に大きな拍手を送りながらも、胸の内には複雑な思いが去来しました。というのも、少子化の急速な進行により、県内では多くの高校が定員割れの状況にあり、県教育委員会は2027年度以降、募集定員の段階的削減を示しています。母校も例



の状況にあり、県教育委員会は2027年度以降、募集定員の段階的削減を示しています。母校も例

外ではなく、高校を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。さらに私立高校授業料の実質無償化拡充により、学校選択の幅は広がる一方で、公立高校の存在意義や特色づくりがこれまで以上に問われる時代となりました。

しかし、どのような環境であつても、学び舎で培う友情や挑戦の記憶は一生の財産です。卒業生には変化を恐れず、自らの道を切り拓いてほしいと願っています。そこで祝辞の最後に「母校の誇りを胸に、胸を張って堂々と歩んでいただきたい！」と付け加えたのでした。同時に、地域に必要とされる学校のあり方を議会で真摯に議論し、具体的な行動へとつなげていく決意を新たにしました。



## 【熊本県立技術短期大学校卒業生の晴れの門出】

### 3月14日、県議会経済環境常任委員長として、菊陽町のセミコンテックパークに立地する熊本県立技術短期大学の卒業式に出席しました。近年、半導体関連産業の集積により急速な進化を遂げているこの地域で学んだ、精密機械技術科をはじめ5つの学科の卒業生93人が、晴れやかな表情で門出の日を迎えました。

実習を重視した教育で、ものづくり産業を支える実践的な技術者を育てているこの学校からは、これまでも多くの若者が県内企業へ巣立ち、本県の産業を支える重要な役割を担ってききました。

昨今、熊本ではTSMCをはじめとする半導体関連産業の進出により、ものづくり分野への期待が一段と高まっています。そうした時代の中で、この学校で身につけた専門知識や技術は、社会の様々な現場で大いに生かされるものと思います。



式では在校生による心のもった送辞、そして卒業生代表による答辞が述べられ、仲間や先生方、家族への感謝の思いが率直に語られました。また、成績や卒業研究の内容などが優秀と認められた卒業生への表彰も行われ、努力を重ねてきた学生の姿が印象に残りました。

卒業生の皆さんが、それぞれの職場で技術者として力を発揮し、熊本の産業と地域社会を支える存在として大きく羽ばたかれることを心から期待しています。

【川尻の春を彩る瑞鷹様の2つの催し】

3月、妻とともに大好きな川尻町の瑞鷹様で開催された2つの催しに足を運びました。

まず8日は「川尻蔵前通り祭 瑞鷹新酒蔵出し市」。穏やかな春の陽気のもと蔵前通りは歩行者天国となり、しばらくたての新酒をはじめ、お茶席やグルメのキッチンカーなど多くの出店が並び、会場は大変な賑わいを見せていました。「和菓子ふれあい絵巻」、川尻の各お寺による「お寺deフェスタ」など、川尻の歴史や文化を感じながら楽しめる、まさに春の風物詩と呼ぶに相応しい1日でした。

続く15日には、瑞鷹様の「枡大蔵」で開かれた「赤池優蔵コンサート」に伺いました。

今年には熊本地震から10年の節目の年。当時、大きな被害を目の当たりにしたこととを鑑みると、蔵が見事に復興し、再び人々が集う場となったことに深い感慨を覚えました。

歴史ある蔵に響く赤池さんの澄んだ歌声は実に美しく、日本酒と食事を味わいながら音楽を楽しむ贅沢なひとときは、川尻ならではの文化の豊かさを感じさせてくれました。

2週にわたり川尻を訪れ、地域の歴史や文化、人々の思い、そして震災からの力強い復興の歩みを改めて実感しました。こうした催しが、町の魅力をさらに広く伝えていくことを心から願っています。



『食のみやこ熊本』を支える匠の栄誉

2月24日、西洋料理の第一人者として活躍されているY様の「厚生労働大臣表彰」受賞祝賀会が盛大に開催され、私も出席いたしました。Y様は18歳で料理の道に入り、良き師匠や仲間にも恵まれながら研鑽を重ねてこられました。

ご挨拶からも、実直で真面目なお人柄、そして料理長となった今もなお現場一筋にこだわり続ける姿勢が強く伝わり、深い感銘を受けました。長年にわたり司厨士協会の発展と地域の食文化向上に尽力されてきたご功績が国から高く評価されたことは、本県にとっても大きな誇りです。

現在、本県は「食のみやこ熊本県」を掲げ、食を通じた観光振興と地域活性化を推進しています。熊本空港の24年度の旅客数は370万人と過去最高を更新しました。こうした内外から熊本を訪れる方々をもてなす上で、美味しい料理の存在は欠かせません。考えてみると、私たちが旅先で最も楽しみにしているのは、その土地の素材を生かした料理に舌鼓を打つひとときではないでしょうか。

Y様の受賞は、熊本の食文化の厚みと実力をあらためて示すものです。今回の栄誉を契機に、さらなる後進育成と食文化の発展が進むことを心より期待しております。



皆さんの声とともに県政を動かす

ウェブアンケートのお願い

この誌面は、皆さんの声に支えられています。QRコードから、率直なご意見や感じたことをお聞かせください。現場で動き出し、県民の安心と安全につながるよう、引き続き責任を持って取り組んでまいります。



アンケートQRコード スマホで読み取ってください

